

四国中央市水道事業ビジョン

概要版

～市民とともに未来へつなぐ安全・強靱な水道事業～

第1章 水道事業ビジョン策定の趣旨 (本編 P.1～P.3)

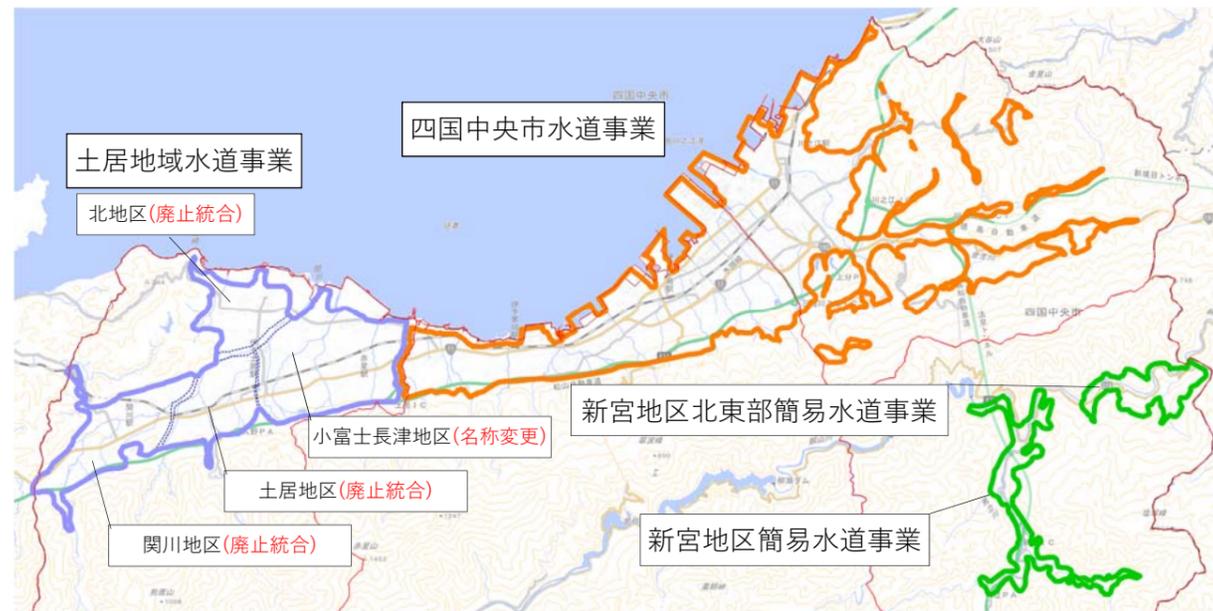
本市の水道事業は、今後の進むべき方向性を「四国中央市水道ビジョン」(平成22年12月策定、平成26年3月改訂)に示し、令和2年度を目標年度として事業を推進し、主要な事業である中田井浄水場の更新整備が令和元年度に完了しました。この間、厚生労働省の「新水道ビジョン」や総務省の「経営戦略」策定の要請に対応し、あわせて人口減少や節水型機器の普及等による水需要の減少、水道資産の着実な更新、災害対策の強化など、水道事業を取り巻く環境の変化にも柔軟に対応する必要が生じました。そこで水道局では、現状と課題を把握し、国の新水道ビジョンに示された「安全」「強靱」「持続」の視点の下、今後の事業計画を立案し、住民及び議会への情報開示と説明を行うことを念頭に「四国中央市水道事業ビジョン」を策定しました。当面の目標年度を10年後の令和12年度に定め、計画期間を令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

第2章 概要と沿革 (本編 P.4～P.16)

(1) 給水区域 (本編 P.4～P.10)

三島川之江地域では、伊予三島・川之江両市の水道事業を引き継いで設立された銅山川上水道企業団を本市の市町村合併にあわせて解散し、四国中央市水道事業としています。土居地域は土居地域水道事業、新宮地域は新宮地区簡易水道、新宮地区北東部簡易水道事業により給水しています。

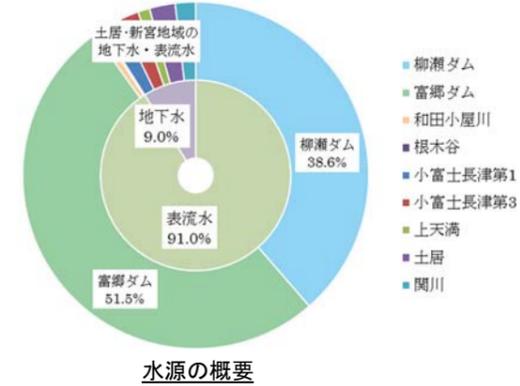
東西約25kmの海岸線に沿って、東部には全国屈指の「製紙・紙加工業」の工業地帯を擁し、その南には比較的幅の狭い市街地が形成され、西部には自然海岸から広大な農地が広がっています。さらにその南には急峻な法皇山脈から四国山地へと続く山間部を擁しています。こうした地形に対応するため、標高差に応じて多数の送配水施設を整備してきました。三島川之江地域の東部に位置する川滝地区や、西部の土居地域、南部の新宮地域にも多数の施設を配置しています。



給水区域の概要

(2) 水源と浄水施設 (本編 P.11～P.12)

本市は、三島川之江地域を対象とする銅山川水系の柳瀬ダム及び富郷ダムを主要な水源としており、この2つのダムが取水量の90%を占め、他に土居地域に地下水、新宮地域に表流水の水源を有しています。銅山川水系を水源とする中田井浄水場の大規模更新整備は令和元年度に完了しました。



水源の概要



中田井浄水場

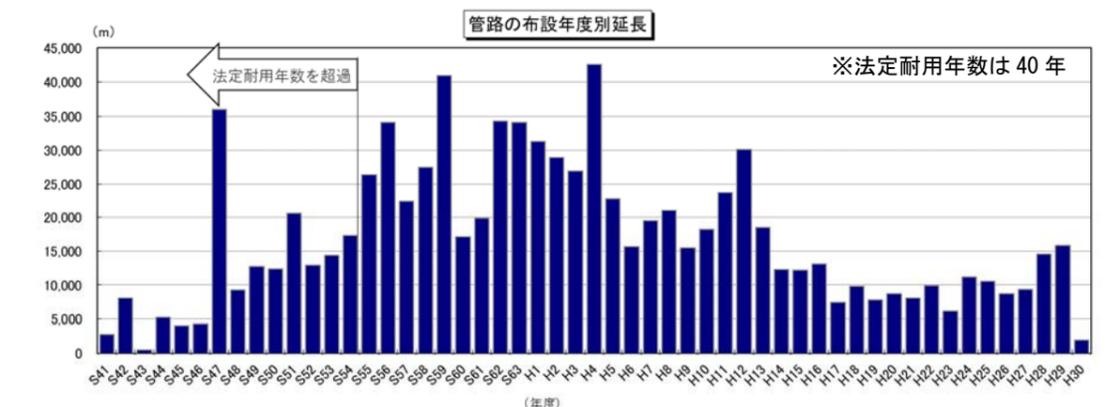
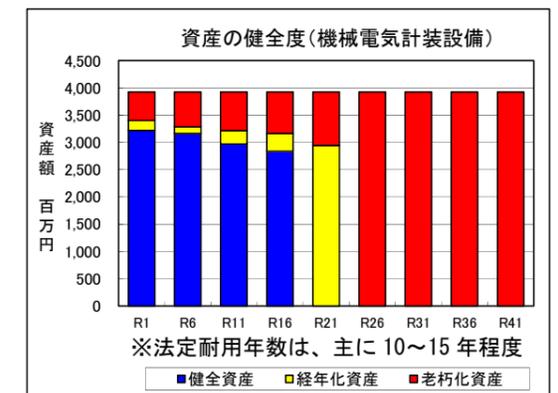
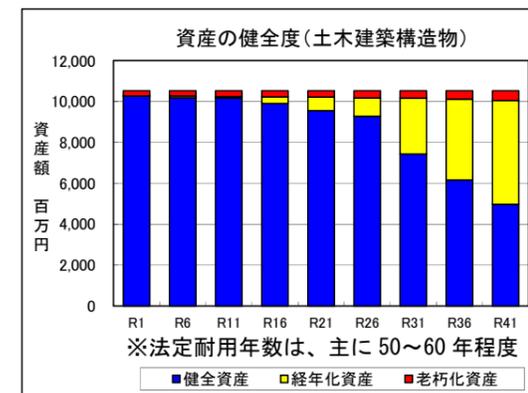
第3章 現状の分析と課題 (本編 P.17～P.24)

(1) 現行ビジョンの進捗確認 (本編 P.17)

進捗と対応方針	事業名称
完了	中田井浄水場等更新整備事業、長津配水池整備事業
未実施・再検討	土居地域送水管布設事業
実施中	水道施設耐震化事業、老朽管路更新事業、送配水施設整備事業

(2) 老朽化 (本編 P.18～P.19)

土木建築構造物、機械電気計装設備、管路はいずれも、今後、法定耐用年数を超過し計画的な更新が必要な段階となっています。

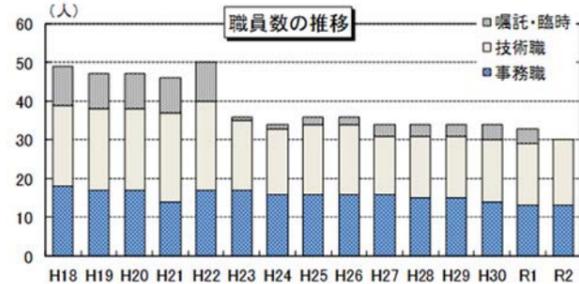


(3) 料金水準 (本編 P. 20)

本市は、合併の経緯により三島川之江地域、土居地域、新宮地域により料金水準が異なっています。また、三島川之江地域以外では、給水原価に対して供給単価が下回っている状態が続いています。引き続き健全な事業経営を継続するためには、適正な料金水準の検討が必要です。

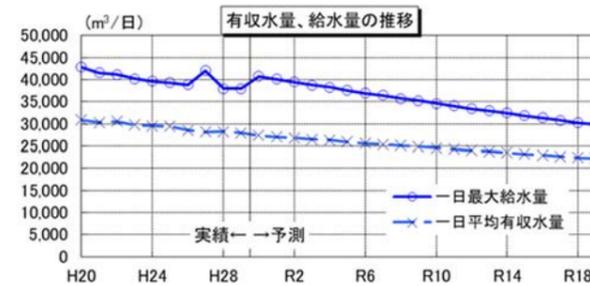
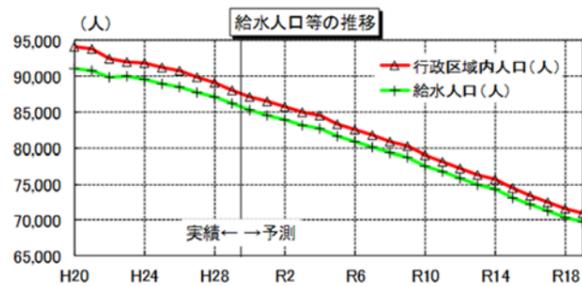
(4) 組織体制 (本編 P. 22)

令和2年4月1日現在、水道局2課4係30人(うち再任用5人)です。平成22年度までは45人を超える職員が在籍していましたが、近年は徐々に減少しています。



第4章 将来の事業環境 (本編 P. 25)

本市は、人口減少が続いており、今後もこの傾向が続くとみられます。給水量についても、人口減少や節水型器具の普及等により、引き続き減少傾向が続くとみられ、施設稼働率の低下や料金収入の減少が見込まれることから、更新時の施設規模の見直しや様々なコスト削減、適正な料金水準の検討などが必要となっています。



第5章 基本理念・施策目標 (本編 P. 26)

水道は、住民の生活を支える重要なライフラインであり、平常時のみならず災害時にも安定給水を確保する責務があります。これまでの水道事業等の歩みを振り返り、現状分析を行った結果、いくつかの課題があることが分かりました。これらの課題を解決するための方策を具体化していくため、以下の基本理念のもと、「安全」「強靱」「持続」に関する施策目標を定めました。

<基本理念>

市民とともに未来へつなぐ安全・強靱な水道事業

<施策目標>

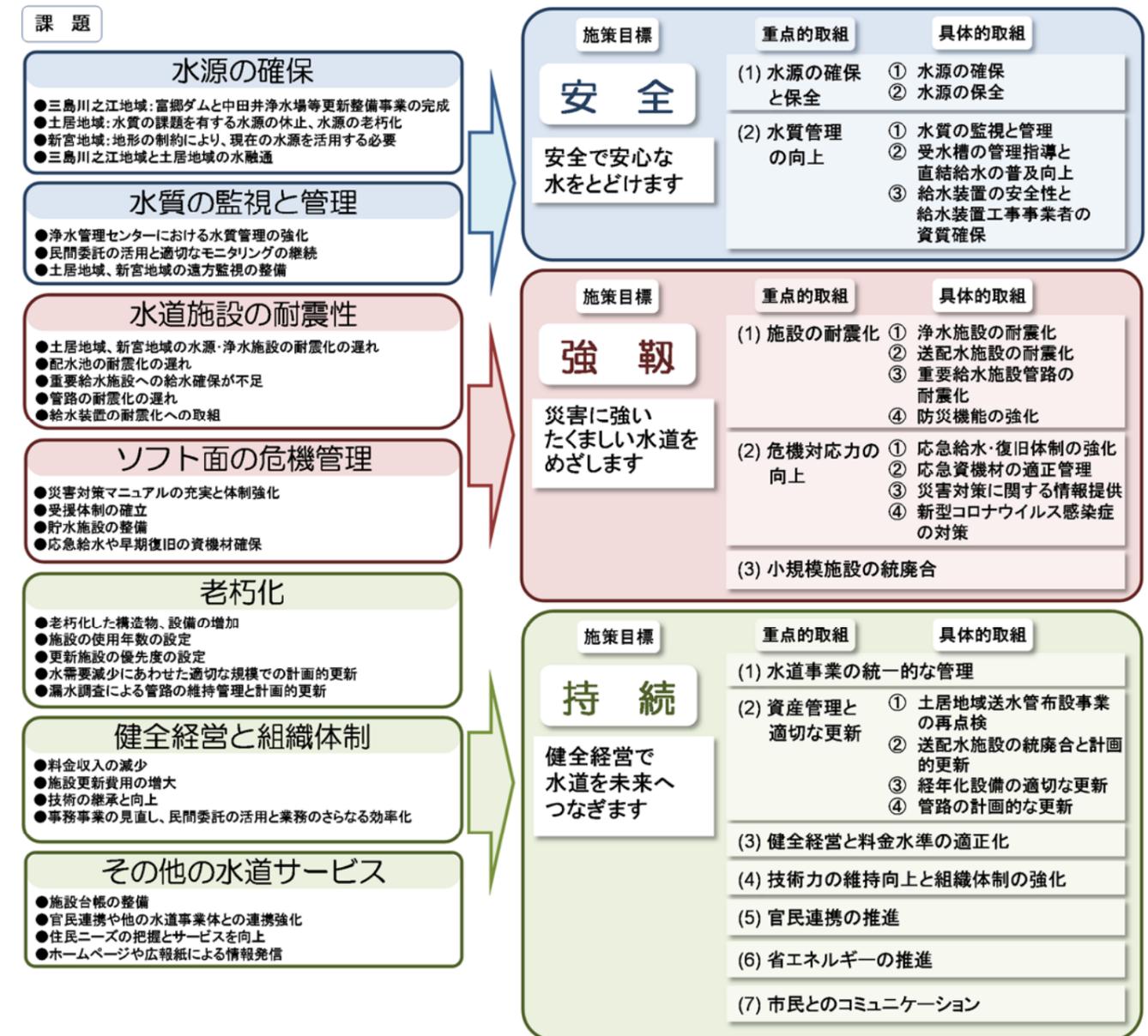
[安全] 安全で安心な水をとどけます

[強靱] 災害に強いたくましい水道をめざします

[持続] 健全経営で水道を未来につなぎます

第6章 推進する実現方策 (本編 P. 27~P. 42)

課題の抽出結果に基づいて整理した施策目標ごとの重点的取組と具体的取組は、以下のとおりです。



事業計画 (本編 P. 42)

分類	事業名称	計画期間 事業費 (百万円) R3~R12	概算 事業費 (百万円) R3~R17	分類	事業名称	計画期間 事業費 (百万円) R3~R12	概算 事業費 (百万円) R3~R17
取水・導水施設更新整備事業	柳瀬系取水施設更新事業	25	25	施設更新整備(耐震化)事業	水道施設更新事業	409	409
	柳瀬系導水管更新事業	0	274		緊急遮断弁整備事業	270	270
	土居地域水源整備事業	145	145		非常用自家発電設備整備事業	307	307
浄水施設整備事業	土居地域水源施設浸水対策事業	10	10	新設管路整備事業	中田井配水池系耐震配水管整備事業	371	371
	小富士長津配水区域浄水施設整備事業	270	270		中田井配水池系東部地区配水管整備事業	330	330
	土居・関川配水区域浄水施設整備事業	300	300		中田井配水池系西部地区配水管整備事業	430	430
送水・配水施設更新整備事業	樋谷配水池系整備事業	615	615	管路更新(耐震化)事業	公共工事に伴う管路整備事業	50	75
	棒賀配水池系整備事業	318	318		土居配水区域配水管更新事業	1,143	1,143
	西金川送水ポンプ場更新整備事業	0	111		関川配水区域配水管更新事業	0	885
	川滝地区機械電気設備更新事業	133	133	老朽管路更新事業	1,250	1,500	
	土居地域遠隔監視システム整備事業	206	206	計	6,925	8,520	
	土居地域送水施設整備事業	343	393				